

卒業生代表挨拶

春を告げる桜のつばみに、恵の雨となる、今日の佳き日に

卒業するにあたり、「令和5年度第2学期 卒業証書・学位記授与式」をかくも盛大に、執り行っていただきまして、誠にありがとうございます。卒業生一同、心から感謝申し上げます。

先程は、宮崎学習センターの松下所長様から、心温まるお言葉をいただき、感慨ひとしおでございます。あわせまして、ご来賓の皆様から、励ましなどのお言葉をいただきました。本当にありがとうございます。

在学中は、松下所長様、先生方・職員の皆様には、卒業までの長い間にわたり、学習のご指導・ご支援を賜り、心から、感謝申し上げます。

また、宮崎学習センターの栄えある賞の表彰をいただきましたことは、私たち卒業生にとっては、最高の喜びでもあります。それぞれの表彰をお受けしました卒業生に代わりまして、重ねて、御礼申し上げます。

私事で恐縮ですが、私の入学の動機は、年齢を問わず、はたらきながら、通信教育により、学位が取得できること、職場の身近なところに学習センターが設けられていたことによります。入学時は75歳でしたから、一抹の不安はありましたが、「4年間で必ず卒業する」という目標をたて、座右の銘である「初心不改」を胸に刻んでの学生生活のスタートでした。

不慣れなパソコンを何とか駆使しながら、放送授業を何度も何度も聞き返したり、教材を読み返したりの毎日でしたが、この歳ではなかなか覚えられず苦勞しましたし、単位認定試験の近い日などは、徹夜も辞さないほどでした。

教養学部の「人間と文化コース」に籍を持ちましたが、仕事に関わりのある科目、興味のある科目などを、選択肢の一つとしましたので、スムーズに学習に入りこめたという実感があります。

いつもワクワク感で受講した博物館概論等、好きな日本文学関係、「人口減少社会の構想」や「市民自治の知識と実践」などの多くの科目にチャレンジすることができたのも、放送大学ならではの多岐にわたる科目構成があったお陰だと思っています。

また、面接授業では、先生との対面、学生の皆さんとのコミュニケーションが図れる場であることから、楽しみにした講義のひとつでした。

真夏の炎天下での「海洋生物学実習」の校外学習は、熱中症になるのではな

いかと思うくらい見つかったものですが、学生の皆さんといろいろな話が出来た有意義な2日間でした。また、コロナ禍で疲弊しきった地方の活性化をしなければならぬときに受講した「地域活性化システム論」の授業では、日向市外の学生の皆さんと「日向市の良いところ」というテーマをもとに、意見交換し合った「ワークショップ」も貴重な体験で、今でも仕事に大変役に立っています。

仕事と両立させながらの学生生活は、厳しさもありましたが、家族の支えもあって、この歳で新しいものを多く学んだ、充実した有意義な4年間でした。

いま、私たちは、ここに卒業します。放送大学在学中に諸先生から、多くの事を学び、修得しました。大学を卒業される方、更に自己研鑽につとめるため在学される方、進路の道は皆それぞれですが、私たち卒業生は、大学で学んだ数多くの事を糧として、これからも、世の中のために、少しでも貢献できるように頑張っ参ります。

結びに、ハイレベルで貴重な学習の機会を与えていただきました放送大学に感謝するとともに、本大学の今後ますますのご発展と学習センターの先生方、職員の皆様のご健勝・ご多幸を、そして、卒業されます学生の皆様の、今後のご活躍を心から祈念申し上げ、卒業生を代表しまして、お礼の言葉とさせていただきます。

本日の卒業式、誠に、ありがとうございました。

令和6年3月24日
卒業生代表 松葉 進一